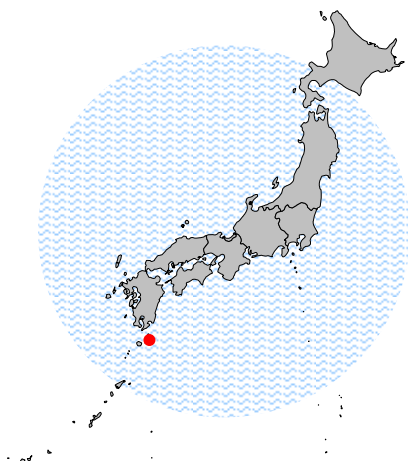


種子島に伝わる郷土芸能

種子島 (たねがしま)



【場所】鹿児島県西之表市、中種子町、
南種子町
現和風本神社、古田豊受神社など



島の人口: 34,128 人
島の面積: 453.87 km²
(平成 17 年国調)

種子島には踊りや民謡など数多くの郷土芸能が伝承されています。古くから本土や琉球などとの交流の中で島に伝わり、種子島独自に育まれた郷土芸能が多いのが特徴です。現和庄司浦集落に伝わる「ヨンシー踊り」は、およそ 160 年前に沖縄の「国頭さばくい」が伝わり、種子島風に変化したもので、面をかぶりユーモラスに踊ります。明治時代末に大分県から古田に伝わった島唯一の「獅子舞」は、艶やかさと賑やかな囃子が人々を引きつけます。毎年秋の願成就には、あちこちで笛や太鼓が鳴り響き、集落の人々が集まる中、自然の恵みへの感謝を込めて伝承芸能が披露され、その景観からは、日々の暮らしの中で芸能を受け継ぐ人々のエネルギーが伝わってきます。

写真左: ヨンシー踊り

写真右: 古田豊受神社に奉納される獅子舞

問い合わせ先 : 国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421